



落穂会だより

秋季号 2017.10

社会福祉法人 落穂会
 鹿児島市皆与志町2503番地
<http://www.asahigaokagakuen.jp/>

障害児入所施設 あさひが丘学園 (Tel 238-4821)
 障害者支援施設 あさひが丘 (Tel 238-4821)
 地域生活支援センター あさひが丘 (Tel 243-1112)
 障害者支援施設 旭福祉センター (Tel 244-3551)
 障害福祉サービス事業 第二旭福祉センター (Tel 244-3551)
<http://www.asahi-center.com/>



「共に生き、共に創る」

障害者支援施設 あさひが丘
 日中活動統括主任
 隈 元 勇 治

毎号「落穂会だより」をお読み頂いている皆様、誠にありがとうございます。すでにお気づきの方も多いと思いますが、このところ、地域の皆様と交わる機会を紹介するページが増えて参りました。今号においても、「春山町内会夏祭り（六月燈）」「あさひやワークショップ」そして「ペーカリー楓・感謝フェア」と、三つのイベントについて、後のページで紹介されています。これは、私たち落穂会の理念である「共生と共創」を実現する為の取り組みの一環であることは言うまでもありません。ワークショップの皆様をお招きし、夏祭りでは皆様と共に参画し、ひとつの行事を創っていく。そして、日頃の交流の感謝をこめてフェアを開催する。その他にも、グループホームを中心に班会へ出席する事で皆様と意見交換する機会を得たり、草刈等で共に汗を流す。このようなキャッチボールを重ねることで、やがては「名前前で呼び合える」関係を皆様と築いていきたいと考えております。

しかし、これまでの取り組みは、あくまでも始めの一歩に過ぎません。こうしたひとつひとつの取り組みを通じて、私たちが知って頂き、継続して皆様との交流に力を入れることで、お互いに考えていることを率直に意見交換できる関係を築きたい。そして、その中から地域におけるニーズや課題を知り、皆様と共にニーズの実現や課題解決に尽力する。そうすることで、高齢者がいつまでも生き生きと暮らし、子供たちが伸び伸びと明るく元気に育ち、障害者が地域社会の一員として安心して暮らせる環境を共に創りあげていきたいと強く願っています。そういった取り組みを、この地域の発展や新たな価値を見出す「地域創生」に繋げていくことが、私たちの使命だと考えています。

十一月には、「あさひが丘秋まつり」と「旭センターバザー」が開催されます。まずは、始めの一歩への取り組みに共感して頂き、多数の方がご来場いただくの心を、心よりお待ちしております。そして、今後の私たちが、時には厳しく、時には温かく見守って頂ければ幸いです。

新通所者紹介

◆旭福祉センター
 河内 聡志さん
 みんなと楽しくがんばりたいです。よろしくおねがいします。
 山田 鶴夫さん
 旭福祉センターへきました。みんなと仲良くなりたいです。

新任職員紹介

◆あさひが丘学園
 井上 晃 支援員
 利用者の方と共に、日々を大切にし、笑顔で過ごせる様に努めていきたいと思っております。
 古田 萌恵 支援員
 未熟な私ですが、利用者様の笑顔がみられるよう支援していきたいと思っております。
 ◆地域生活支援センターあさひが丘
 高竿 彩 支援員
 何事にも前向きに、日々成長、笑顔を大切にしていきます。

第4回 あさひが丘 秋まつり

日時 平成29年11月4日(土) 10時から15時(予定)



※模擬店・舞台発表
 ○第一会場
 鹿児島女子短期大学 ヤング踊り連 Team 鹿女短
 きずな会舞踊
 薩摩の猿まわし 広美&なな
 春山地区「棒踊り」
 動物ふれあいコーナー
 ※鹿児島市のキャラクター「さくら」も来るよ。
 ○第二会場
 乗馬体験
 みかん狩り等楽しいイベントが盛りだくさんです。ぜひご来場ください。

第51回 ふれあいバザー

日程 11月19日(日)
 時間 10:00~14:00 雨天決行
 前年大好評だったプラレールや、フリーマーケットを今年も開催します。さらに、徳永和喜さんによる講演会や、緑ヶ丘のみどり会の方々にお越しいただきポップコーンの販売もあります。もちろん旭福祉センターで作った新鮮野菜や陶芸体験・菓子等の販売も行いますので是非お越しください！



フットサル大会準優勝!! おめでとう

7月1日、第8回鹿児島県知事杯知的障害児者フットサル大会が鹿児島ふれあいスポーツランドで開催されました。あさひが丘は今大会も大会にエントリーし1部リーグに参戦しました。予選リーグを1勝1分けの首位で突破し、決勝トーナメントに進出しました。準決勝は試合時間では決着がつかず、PK戦にまでもつれこぼ激戦となりましたが、最後の最後まで勝ちたい気持ちを前面に押し出す全員プレーを続け、勝利をつかみ取る選手の姿には感動させられました。決勝戦は惜しくも敗れましたが、第1回大会以来の久々の準優勝という好成績を収めた選手たち。準優勝という結果への満足感、達成感よりも、試合に敗れた悔しさが大きい様子の選手たちの姿に、来年の大会への期待を抱かせる瞬間でもありました。



この度、公益財団法人 JKA 様より平成29年度の競輪公益資金による補助金の交付を受けて、車両の導入が完了いたしました。ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、公益財団法人 JKA 様をはじめ、ご協力を頂きました関係者の皆様に謹んで御礼申し上げます。

記

事業名 平成29年度 福祉車両の整備 補助事業
 補助金額 1,275,000円
 完了年月日 平成29年7月19日



平成二十九年度競輪補助事業完了のお知らせ

◆ 行事報告 ◆

07月1日(土) 第8回 県知事杯フットサル大会
あさひが丘学園・地域生活支援センターあさひが丘グループホームの利用者の方々が参加し準優勝という素晴らしい成績を収めました。詳細は、8面をご覧ください。

07月6日～7日 あさひが丘宿泊旅行：宮崎
利用者5名、職員3名で宮崎旅行へ行ってきました。特急電車やレンタカーで移動、青島神社やフェニックス動物園などを観光し楽しい思い出を作ってきました。

07月6日(木)
児童発達支援センター歩路・ガーデンキッズトリア・セルク幼・保連絡会
地域生活支援センターあさひが丘において、幼保連絡会を実施しました。歩路・セルク・トリアと関係のある幼稚園・保育園から53機関の参加があり、それぞれの幼稚園・保育園と個別に情報交換する時間を設けました。個別相談では幼稚園・保育園での子どもたち様子や療育機関での様子などを話し合い、情報の共有を図ることができました。今後も、関係機関との連携を深め、支援の向上や就学前相談の充実を図ってきたいと思います。

07月15日(土) 春山地区夏祭り
詳細は、1～2面をご覧ください。

07月15日～16日 九州地区地域生活者交流会(宮崎)
グループホーム入居者2名、職員1名が交流会に参加しました。県外の地域生活者との交流会に初めて参加する2名でしたが、少しずつ緊張もほぐれ名刺交換等しながら交流を楽しむことができました。

07月18日・8月3日 救命講習
旭福祉センターでは、職員と利用者代表6名に対して救急救命講習を行いました。AEDの使用法や応急措置について実技を交えながら学びました。

07月23日(日) グループホームあさひが丘暑気払い
マルヤガーデンズのピアガーデンにグループ入居者36名、職員18名が参加しました。会場ではお酒やおいしい料理を楽しむことができました。4月から入居した方もいましたが、それぞれ楽しんでいました。

07月23日～24日 児童部夏季キャンプ!・始良
7月26日～27日 児童部夏季キャンプ*・始良
あさひが丘学園児童部では、初めてキャンプを実施しました。ユニットごとに分かれ始良市にある「さえずりの森」で1泊2日を過ごしました。みんなで作ったBBQ、夜には花火、2日目はソーメン流しに行き楽しい夏休みの思い出が作れました。

07月29～30日 旭福祉センター 入所利用者キャンプ
入所利用者がいちぎ串木市観音ヶ池市民の森にキャンプへ行きました。天候も良く、夕食はバーベキューを楽しみ、星空の下での映画鑑賞会をしました。翌日は冠岳・歴史自然の里を散策しました。

07月29日～30日 鹿児島県知的障害者福祉協会 利用者交流会(福岡)
あさひが丘グループホーム入居者10名、職員2名が参加しました。野球観戦や福岡観光など参加した入居者は、好きなプランを楽しむことができ、野球を見た方は興奮冷めやらぬまま、試合の様子を話してくれました。来年も参加したいとの声も多く聞かれました。

07月30日(日) ASAHIYAワークショップ!
あさひが丘では、今回で3回目となる「あさひワークショップ」を開催しました。陶芸体験8家族18名、レザークラフト体験4家族6名の方が参加しました。詳細は、1～2面をご覧ください。

08月12日(土) 旭福祉センター家族総会
個別面談の後、前年度の決算報告等が行われました。お忙しい中多数の皆様にご出席いただき、ありがとうございました。

08月19日(土) サマーナイト花火大会
今年もサマーナイト花火大会の見学に出かけました。今年はグループホームあさひが丘の女性利用者が参加し、大迫力の花火を近くで見ることができました。来年も行きたいとの意見が多く聞かれました。旭福祉センターからは、利用者18名、職員3名の計21名で花火鑑賞へ出かけました。間近で大迫力の花火を見ることができ、楽しい思い出になりました。

08月23日(水) 不審者対応訓練
地域生活支援センターあさひが丘で不審者対応訓練を実施しました。子ども達や利用者は避難経路等の訓練、職員は不審者の対応及びさすまたで建物の侵入を阻止する訓練を実施しました。その後、西警察署員から実際に不審者に対応する際の注意事項等の総評を頂きました。日頃から利用者・子ども達の安全を第一に考えた行動が大切だと職員間で確認できる訓練になりました。

08月25日(金) 不審者対応訓練
あさひが丘学園では例年通り、西警察署の協力のもと不審者対応訓練を実施しました。訓練後には、西警察署職員の方から利用者・職員に向けた講話がありました。職員への講話では、実際にさすまたなどの防犯具を使用した指導もありました。

08月26日 緑ヶ丘夏祭り
旭福祉センターでは菓子の販売を行いました。地域の方にセンターの活動を知っていただくよい機会になりました。また、祭りの見学に出かけた利用者からは楽しかったとの声がありました。

09月1日(金) テーマ別研修/河原雄一氏
あさひが丘学園では、成人期における個別支援計画書作成に関する講義及び演習というテーマで、湘南ゆき村 施設長 河原雄一氏に講演してもらいました。34名の職員が参加し個別支援計画の理解を深めました。

09月7日～8日 あさひが丘宿泊旅行：キャンプ
利用者10名、職員6名で加世田海浜公園キャンプ場へ1泊2日で行ってきました。一日目は、あいにくの曇り空でしたが、ゆっくりと温泉に入り夕食は笠沙恵比寿でコース料理を美味しく食べました。二日目は、晴天となりキャンプ場周辺の散策を楽しみました。

春山地区夏祭り・棒踊り、手踊り

七月十五日、春山地区夏祭り。塚田神社にて春山郷土芸能である棒踊り・手踊りを行いました。地区住民の有志の方をはじめ大人二十名、小人十名の参加。あさひが丘・旭センター・ゆうかりから職員と利用者、数名ずつ参加しました。当日は肩にタスキを掛けて、顔には化粧を塗ったいでたちでの登場。春山公民館でいつも練習している雰囲気とはだいぶ異なり、緊張の連続となりましたが、地域の子ども達や、利用者達は楽しそうに踊っていました。



五月始めからの練習にはじまり、現代風の踊りとは異なった独特な節回しの伝統芸能。踊れるようになるだろうかと不安になる中、地域の子供たちや利用者達はどんどん吸収していく姿をみてとれました。春山地区の郷土芸能に演舞する形で参加していただき、貴重な体験が出来ました。今後の活動として、十一月四日あさひが丘秋祭りでの演舞を予定しています。皆さんも郷土芸能に触れる機会を楽しみにしてください。



感謝フェア開催

旭福祉センター・ペーカリー楓では、十月十二～十五日の四日間、日頃お世話になっている地域の方々への感謝を込めて「感謝フェア」と題してパンの割引やピザ作り体験・キッズスペースの開放等を企画しております。感謝フェアを通して、旭福祉センターでの活動をたくさんの方に知っていただく機会になればと思います。

↓前年の様子



第3回 ASAHIYAワークショップ開催しました

7月30日(土)に、あさひが丘学園内の工房あさひやにて「第3回あさひワークショップ」が開催されました。当日は、陶芸体験に8家族18名。レザークラフト体験に4家族6名の方に参加していただきました。夏休みとあって、たくさんのお子様に参加していただきました。今回参加された方からは、「自分で苦労して作ると、愛着が湧く」「あさひが丘の雰囲気がとても素敵で温かい気持ちになった」等のご意見をいただきました。今後も多くの皆様と楽しい時間を過ごせる様、様々なイベント開催ができるよう努めたいと思います。



「バスをみたい」

旭福祉センター 利用者
前原 辰典

むらさき（グループホーム）にいます。大阪生まれ、たんじょうびは二月二十三日。

旭福祉センター二〇〇二年四月一日十五さいではいりました。竹工の大山しようてん、やさいふくろづめをしてました。トマトをいろうしました。パン、ベーカリーふう・のどか二〇〇九年オープンです。いまはパンをします。

りようにいきました。もと、りようです。いま、グループホームにいます。さいしょ、れんしゅうでなでしこ（グループホーム）にいました。いま、むらさきにいます。あさ、むらさきのそうじをいろいろします。やすみはタイヨーにいけます。てつだいにきてます。レストランのどかにいきます。へやのそうじをやつてます。まいしゅうしてます。

センターをがんばります。ちゃんとするようにがんばります。センターのルールをまもるのをがんばります。大阪からバスで鹿児島中央にきました。ゆめは大阪にかえります。まだひみつです。大阪のバスにのりたいです。大阪のバスをみたいです。

「成長を感じる日々」

あさひが丘学園 保護者
桑原 やさ子

あさひが丘に通所を始めて四年目になります。八月で二十二歳になりました。

幼少期は全く意志の疎通ができずに、要求もわかってやれず、奇声を発することが多い毎日でした。屋外が好きで毎日散歩に行きました。でも、公園では、ただ追いかけるばかりでしたが、しだいに「待って」「止まれ」ができるようになり、首を振り「イヤ」が表現できるようになると私も精神的にとっても楽になりました。

今は日中活動で運搬やメグイ作業などをがんばっています。日中活動参観日に参加したときは、メグイ作業でした。朝の点呼で「アツ」と手を挙げて返事をして、職員さんに指示されて釘を取りに行き、釘通しの作業をしました。ときどきイスをガタガタさせたり声を発しますが、あまりにも手際が良く、速いのでびっくりしました。息子の意外な才能でした。

集中しての作業は一時間ほどが限界ですが自分の役割ができて充実した時間のようです。最近、「イヤ」の表現が増えてき

たように思います。普通は幼児期に表われ親にとっては困りものですが、自分の気持ちを伝えようとする自己主張が、息子の成長を感じます。まだまだ、理解してやれないことも多いですが、毎日楽しく通所し、汗いっぱいになり作業をがんばっています。

「お花の話」

あさひが丘学園 職員
福留 望美

私は、日中一科（園芸療法）に所属となり今年で七年目になります。ここだけの話、所属した一年目の時、全くお花に興味がありませんでした。水掛けもただ何となくしていたり、活動も言われた事をしていただけで、時には「お花大変…。やりたくないな」とまで思っていました。その当時、一緒にチームを組んでいた上司は、同じお花一年目なのに「お花の事を一生懸命に勉強をして、利用者の方に支援している姿を見て、なんでそこまで出来るんだろう」と思っていました。お花に対する思いが熱くならないままの三年目、その上司が新事業に向けて研修に行くようになり「お花の事よろしくね」と言われた時、「私、お花のこと何も分からないぞ」と思い、ようやくやる気スイッチが入りました。「まずは、お花に

さんぽみち



旭福祉センターでは、今年度より生活介護事業のひとつとして「音楽療法」に取り組んでいます。週二回（木・金曜 十三時～十五時）、二名の音楽療法士と音楽を通してまわりの人との関わりやポディーアプローチなどを学んでいます。それでは実際に音楽療法をしている方たちにイ

ンタビューしてみよう。
Q みなさん、こんにちは！今は何の演奏をしている所ですか？
福永さん「これはトーンチャイムだよ」
宮田さん「合図を見てから鳴らすんだよ」

中野さん「私は上手にできます」
梅田さん「じゅんばんに鳴らすの難しいときもあるけど、楽しい」
Q 西留さんにお話をきいてみましょう。
音楽療法ではいつもどんなことをしますか？
西留さん「歌ったりしますね。ダンスをしたり、演奏したりしますね。」
Q いろいろするんですね！どの活動が一番好きですか？
西留さん「楽器！たのしいですね。」
Q ありがとうございます。
次に梅田さんにもインタビューしてみよう。
音楽療法でむずかしいことはありますか？
梅田さん「最初にあいさつをするのが、はずかしい。」（セッションの始めに「あなたのお名前は何？」の曲に合わせて自己紹介をする）
Q みんなの前だと緊張しますよね。では今までの活動の中で一番楽しかったことは何ですか？
梅田さん「ウイドチャイム!!!」（きらきらとした音が鳴る楽器）
「こうやってやる!!!」（と書いて演奏のジェスチャーをしてくれました。）
Q ウイドチャイムはどの曲で使うのですか？



梅田さん「ふるさとだよ！使うときは自分で準備するよ！」
お話ありがとうございます。
この他にも小豆を使って波音を表現するなど季節と連動したセッションも行っています。
みなさんのびのびと歌い、楽器の演奏を通して音楽を楽しんでいる様子でした。





すなっふスナツプ

